資料１

セカンドライフ応援情報誌『いきがいど BOOK』　概要

○主に６０代を対象とした情報誌
○Ａ４判　オールカラー　１２４ページ
○人生の新しいステージ“セカンドライフ”に入った方々に、年金や介護などの生活に必要な情報から、地域活動の紹介、暮らしを豊かにする趣味や生きがいの話題など、充実したセカンドライフを過ごすために役立つ情報を１冊にまとめたもの
○鉱脈社との「協働」で作成
○鉱脈社の『タウンみやざき』や『じゅぴあ』で連動企画を掲載中
○配布方法
　①６０代の方のいる世帯へ直接配送（ヤマト運輸メール便）
　　※１２月１日配送スタート（年内完了予定）
　　※配送対象：平成２５年１０月１５日現在の住民基本台帳情報にて平成２６年４月１日時点で６０～６９歳（昭和１９年４月２日～昭和２９年４月１日生まれ）の方がいる４３，２０６世帯
　②市役所本庁舎、総合支所、地域センター、地域事務所、一部の公共施設で配布
　③下記イベント「セカンドライフ応援！いきがいどフェア」会場で配布
　④その他、自治会長や民生委員児童委員、さんさんクラブ（老人クラブ）などの関係団体にも配付して普段の活動に役立てていただく予定
○市ホームページに冊子の全データを掲載予定
○タイトルは公募。３９０作品（２１６人）の中から選定
○タイトルには「生きがいガイド（生きがい紹介）」「地域ガイド（地域の案内）」「生きるためのガイド（生活便利帳）」「私の生きがいど！（宮崎弁風）」といった意味が込められている（宮崎市・湯淺紀子さんの作品）
○タイトルと合わせて「セカンドライフ川柳」も公募。３７１作品の中から入選８作品を選定。ページ下にも１作品ずつ４８作品を掲載。（掲載合計５６作品）
　最優秀賞「これからが青春白い靴をはく」江藤九州男さん（宮崎市）
○単年度事業（継続して発刊していく予定は無い）
○事業費：情報誌　約１千万円（※広告掲載によりコスト抑制）　配送費　約３百万円

関連イベント『セカンドライフ応援！いきがいどフェア』　概要

○自分の生きがいや地域活動等に興味を持った方に、より具体的に考える機会を提供。実際に生きがい発見や地域活動参加に繋げていただくねらい
○元 NHK アナウンサー　堀尾正明さんの講演会を開催
○「地域まちづくりサポーター」の登録ブースを設置
○セカンドライフにちなんだ体験ブース、各種相談窓口を設置　※予定
○事業費：約２５０万円
○単年度事業
○地域活動団体や市民活動団体が一同に会するイベント「来てみないよ！みんなで輪（わ）っしょい！みやざき！」も同時開催

問い合わせ先
長寿支援課（TEL21-1773）